

4 ↓

月号 ほけんだより



入園・進級おめでとうございます

初めての保育園生活をする子どもたちにとっては、家庭生活との環境の違いに戸惑うことがあるかもしれません。在園児のみなさんも、お部屋や先生が変わり緊張していることでしょう。今年度も、子どもたちが健やかに元気いっぱい過ごすことができるように携わって参りますので、よろしくお願いいたします。

保育園でお預りする薬について

当園は病児保育を行っていません。風邪薬などやむを得ず持参される場合は、保護者の責任のもと医師の診断、処方に従い与薬することが可能です。

1. 「与薬依頼書」に必要事項を記入し、1回分の薬と薬剤情報提供書(または、おくすり手帳)を、職員に直接手渡しして下さい。
2. 薬は容器や袋にひとつひとつに名前を記入し、「与薬依頼書」と一緒にビニール製の袋に入れて下さい。
3. 預かる薬は医師の処方による薬のみとし、処方期限内のみお預かりします。
4. 目薬、軟膏等の外用薬は全量持参していただき、毎日お持ち帰りします。
5. 市販薬や、屯用の解熱剤、坐薬、鎮痛剤はお預かりできません。
6. スポイトを使用する際はご持参下さい。薬を飲むための食品はお預かりできません。
7. 吸入等の医療行為は当園では行うことは出来ません。

子どもの衣類を考えてみましょう

保育園での服装は「活発に遊べる」「着脱しやすい」という点を優先していただきたいと思います。また、大人は寒くても子どもは体温が高く、たくさん動いて汗をかきます。特に室内は暖かいので半袖の肌着に薄手の長袖で十分です。体調に合わせて重ね着を行っていきますので、上に羽織るタイプの服があると便利です。もこもこした厚手の服は動きの妨げとなりますので、ご協力をお願い致します。

☆**身体に合った衣類を選ぶ**…大きすぎると、手が出せなく、ケガにつながったり、肩が出たりすると身体との隙間ができ保温できなきます。小さすぎると、身体が締め付けられ、お腹が出て身体を冷やしてしまうこともあります。

☆**肌着を着る**…保湿性・吸水性に優れている、綿100%の半袖がおすすめです。

☆**薄着の重ね着**…重ね着をすると、服と服の間に体温で温まった空気の層ができます。また暑くなったり寒くなったりしても調節ができます。

☆**着脱しやすい**…「自分で！」と何でも自分でやりたくになります。ファッション性よりも、ボタンやホックをはめやすく、ひとりでも着脱しやすいものの方がいいでしょう。

☆**安全な衣類を選ぶ**…パーカーのフードやワンピース、スカートなどは遊具などに引っかかったり、はさんだりすると、事故に巻き込まれる危険があります。また、安全ピンやヘアピンは、活動中にケガをする恐れもありますので、ご遠慮ください。

